

株式会社大和テック

2025年度 環境経営レポート

(対象期間:2025年6月～2025年8月) (3か月)



目次

ごあいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要	5
認証・登録の対象範囲	7
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
環境関連法規等の遵守状況の評価の結果	8
代表者による全体の評価と見直し	9
環境経営活動の紹介	9

ごあいさつ

弊社は昭和42年の創業以来、安全を最優先とし皆様に信頼される企業を目指して日々精進してまいりました。近年、予測不可能な自然災害が全国で相次ぐ中、我々建設業に求められるニーズも多様化し、臨機応変に行動する力が必要になってきていると感じます。私ども大和テックは、様々な工事経験の中で培った技術を生かし、お客様のニーズにあったサービスを提供し続けます。『安全はすべてに優先する』をモットーに、時代の変化に柔軟に対応しながら安心安全のサービスを提供できるよう今後も精進してまいります。

経営方針

1. 安全第一を基本に工事を遂行する
2. 品質と納期を守り、信頼できる製品を提供する
3. 総合的技術力の強化と最新技術の創造及び開発
4. エネルギー消費の低減等に努め、地球環境の保全に寄与する
5. 適正利益の確保と永続的成長の実現を目指す
6. 能力と活力を引き出す人材の採用、育成

環境経営方針

株式会社大和テックは創業以来、安全を最優先とし、皆様に信頼される企業を目指して日々精進してまいりました。本業である建設業を通じて地域社会に貢献するべく、人と地域の未来のために社員一丸となって自主的・積極的に環境活動に取り組んでいきます。エコアクション21への取り組みを通じて、経費の削減(燃料・廃棄物・水道等)を行い、安定経営を図るとともに利益の拡大を目指します。

1. 環境関連法規制等や当社が約束したことを遵守します。
2. 燃料の削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 水使用量・排出量の削減に取り組みます。
4. 廃棄物の発生抑制に努め、リサイクル率の向上を目指します。
5. 地域の環境保全に貢献するため、周辺の清掃活動に取り組みます。
6. 職場環境改善のため、3S(整理・整頓・清掃)に努めます。
7. 本方針を全従業員に周知徹底し、継続的に改善します。



制定日 2025年5月21日

代表取締役社長 吉岡 祐司

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社大和テック
代表取締役社長 吉岡 祐司

(2) 所在地

本社・本社工場 〒712-8044 岡山県倉敷市東塚6-4-3
宇野津工場 〒711-0935 岡山県倉敷市児島宇野津2030-43
総社営業所 〒719-1137 岡山県総社市駅南1-1-16アルファスマート総社駅南1001号室

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 総務部 吉岡 美由紀 TEL:086-455-9653
担当者 総務部 木村 かほり
藤原 美穂 E-Mail: info@daiwa-tech.jp

(4) 事業内容

電気、機械器具設置 工事業
許可番号 岡山県知事（般-3）第18093号 許可年月日 令和3年11月10日

土木、石、鋼構造物、しゅんせつ、水道、とび・土工、管、舗装、塗装 工事業
許可番号 岡山県知事（特-3）第18093号 許可年月日 令和3年11月10日

太陽光発電事業

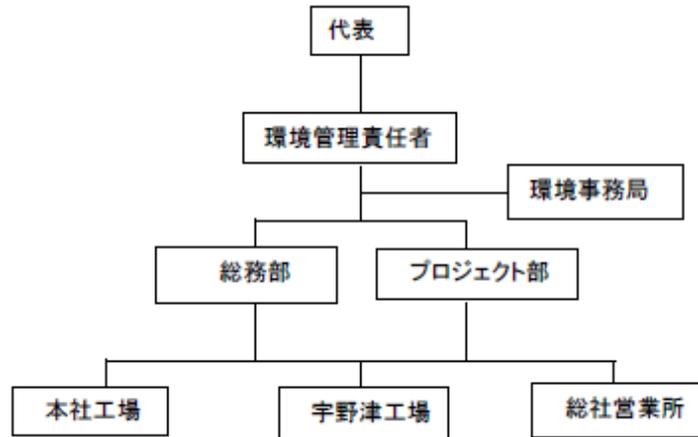
(5) 事業の規模

創立 1993年5月
資本金 3,500万円
売上高 73,800万円
太陽光発電売電量 2.96MWh

各事業所の規模

	本社	宇野津工場	総社営業所	合計
従業員	25名	4名	無人	29名
延べ床面積	2,357㎡	2,013㎡	63㎡	4,433㎡

(6) 組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンス の明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長(部長、工場長)	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(7) 事業年度

5月～翌年4月

3. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社大和テック

対象事業所： 全社全事業所

活動： 水処理施設及びリサイクル工場設備の工事・メンテナンス業務
鋼構造物の製作・据付工事
太陽光発電事業

4. 環境経営目標及びその実績

基準年：2024年5月～2025年4月

環境経営目標	単位	基準年		目標						
		2024年		2025年			2025年	2026年	2027年	
		5月～4月	6月～8月 3か月	6月～8月(3か月)						
				目標	実績	判定				
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	93,403	22,679	22,452	20,983	○	91,535	90,601	89,667
					-1%	7.5%減		-2%	-3%	-4%
	1) 電気使用量の削減	kWh	65,450	14,312	14,168	18,050	×	64,141	63,487	62,832
					-1%	26%増		-2%	-3%	-4%
2	2) ガソリン使用量の削減	L	12,592	3,114	3,082	1,924	○	12,340	12,214	12,088
					-1%	38%減		-2%	-3%	-4%
3	3) 軽油使用量の削減	L	11,375	3,120	3,088	2,785	○	11,148	11,034	10,920
					-1%	11%減		-2%	-3%	-4%
2	一般廃棄物の削減	m ³	12.5	3.1	3.06	3	○	12.25	12.13	12.00
					-1%			-2%	-3%	-4%
3	建設廃棄物のリサイクル率向上	%	99.9	99.6	99	100	○	99	99	99
	水使用量の削減	m ³	236	43	42	66	×	231	229	227
					-1%			-2%	-3%	-4%
その他	社員教育の実施	回	2	1	1	1	○	4	4	4
	地域清掃活動の実施	回	1	0	1	1	○	2	2	2

- ・電力排出係数は調整後の0.517kg-CO₂/kWhを使用。(日本テクノ株)
- ・化学物質(PRTR対象物質)は使用していないため目標値を設定していません。

5. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組計画	実施状況	次年度	評価結果と次年度の取組内容及び目標
二酸化炭素排出量の削減			
・ エコドライブ10の手順書を周知する	○	強化	周知できたが、次年度さらに各々の意識向上に努める。
・ エアコン温度の適正化	○	継続	業者に任せているため年1回だけできた。
・ 不必要箇所の照明と空調を消す	○	継続	こまめにON/OFFをしていく。
・ 省エネのオフィス機器を検討	○	継続	次回、複合機リースの際に省エネ型を検討する。
・ 空気圧をチェックする	○	継続	定期的に行っていく。
・ 現場への相乗りを推進する	◎	継続	なるべく乗り合わせて現場に行っている。
・ クールビズ、ウォームビズの推奨	◎	継続	事務服にポロシャツを採用し、設定温度の見直しができた。
・ 照明を交換する際はLED照明にする	○	継続	使用する照明のほとんどがLEDになっている。
廃棄物排出量の削減			
・ 分別の徹底	△	強化	簡単なものから(ペットボトル、段ボールなど)取り組む。
・ 建設廃棄物の分別及び再資源化	○	継続	分別できている。継続。
・ ごみを持ち込まないようにする	△	継続	各現場で出たごみを持ち帰りがちなので再周知。
・ マニフェストを適切に管理する	○	継続	フォルダにて管理できている。
・ 印刷時に裏紙を積極的に利用する	○	継続	可能な限り裏紙で印刷した。今後も継続。
水使用量の削減			
・ 節水ポスターを掲示する	◎	継続	掲示できた。目標設定して削減に努めていく。
・ 洗車時のかけ流しを禁止する	○	継続	引き続き作業員へ声掛けしていく。
その他活動			
・ 四半期に1度、社員教育を実施する	○	継続	実施できた。日時調整して参加者が多くなるようになる。
・ 地域清掃活動へ参加する	△	強化	会社周辺の草むしりを実施。側溝掃除の参加等強化する。

注)◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

6. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
フロン排出抑制法	簡易定期点検・引取証明書の引渡義務・費用負担	遵守
消防法	消防訓練の実施、消防設備の点検	遵守
労働安全衛生法	労働安全に定める法律の遵守、熱中症に関する体制及び必要な処置を手順化・周知	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の取組を始めて、やっと3ヶ月が経過しました。
会社全体への周知を図るとともに、社員の意識改革を行っているところです。
工場や現場での環境負荷を減らすため、省エネ運転の実施や電力等を含む光熱費の削減を少しずつ実施する努力をしています。事務所においては、ゴミの量の削減や光熱費の削減を目標に全員で取り組んでおり、工事では材料ロスを少なくするため、出来るだけ必要量以内での発注をするよう指導しています。
今後も継続して指導や教育を行い、一人ひとり意識を高めてエコアクション21に取り組んで参ります。

2025年9月10日
代表取締役社長 吉岡 祐司

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

8. 環境経営活動の紹介



<清掃活動>
会社周辺の草むしりを実施しました。



<節水ステッカー>
本社 2階事務所



宇野津工場